

研究分野 知的財産、医看工芸連携

キーワード 特許，意匠，商標，著作権，医療機器，再生医療，

## 医看工芸連携活動と知的財産教育

産学官連携推進機構 知的財産部門 <http://www.oita-u.ac.jp/>  
教授 富畑 賢司 (Kenji Tomihata)



### 研究概要

#### 1. 知的財産教育

従来は「知的財産＝特許」というイメージしかなく、製造業の企業にしか関係がないと思われていましたが、知的財産とはわたしたちの日常生活において身の回りにあるものです。例えば、コミック本をPDF化してインターネットで配信をすると著作権法違反になりますし、軽い気持ちでニセブランド品をネット販売すると商標法違反になってしまいます。

これからは知的財産に関する知識は一般教養として必要となることから、国の知的財産戦略本部が策定した「知的財産戦略2015」（知的財産戦略本部 平成27年6月19日）において、「知財教育・知財啓発の推進」として大学等における知財教育の推進が短中期の取り組みとして記載されています。

難しい法律論ではなく、日常使っている製品や、日ごろのニュースを題材として、社会活動においてどのように知的財産が関係しているかを分かりやすく学べる教育プログラムの開発を目指しています。

#### 2. 医工連携

企業において20年以上、大学医学部等との共同研究により生体吸収性医療材料の研究・開発、再生医療に関する研究を行い、臨床研究、製品化に携わるとともに、知的財産の創出活動も行ってきました。このような経験を生かし、医工連携に関する活動も行っています。

### アピールポイント（技術・特許・ノウハウ等）

論文；富畑賢司“最近の吸収性縫合糸の動向”生体材料、19、143-147（2001）

論文；2011年度知的財産マネジメント第2委員会第3小委員会、“グローバル化、オープンイノベーション時代における社内知財教育に関する研究”知財管理、62、977-992（2012）

講演；「ゆるキャラからオリンピックまで～身近にある知的財産～」平成28年度第3回大分市産学交流サロン、2017年1月16日（於；ホルトホール大分）

知的財産；特許第5008284号「組織再生用基材」

知的財産；特許第5224440号「三次元培養弾性線維組織及び三次元培養弾性線維組織の製造方法」

外部資金；平成28、29年度一般財団法人工業所有権協力センター大学知財活動助成事業「医看工芸連携活動に寄与する知的財産教育プログラム開発」

### 応用可能な分野